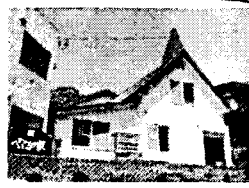


Ⅲ 浦河べてるの家の取組



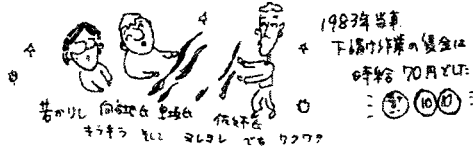
べてるの家の はじまり

べてるの家は1978年に回復者クラブ
 どんぐりの会の有志メンバー数名が
 浦河教会の旧会堂を拠点として活動
 をはじめたのがはじまりです。



1983年、浦河日赤病院の精神科を退院した早坂潔さんをはじめとする
 精神障がい体験した回復者数名が、浦河教会の片隅で昆布の袋詰め
 の下請け作業をはじめ、1984年に当時浦河教会の牧師だった宮島利光氏から、
 「べてるの家」と命名されました。

現在では、精神障がいばかりではなく、様々な障がいを持った当事者が
 活動に参加しています。

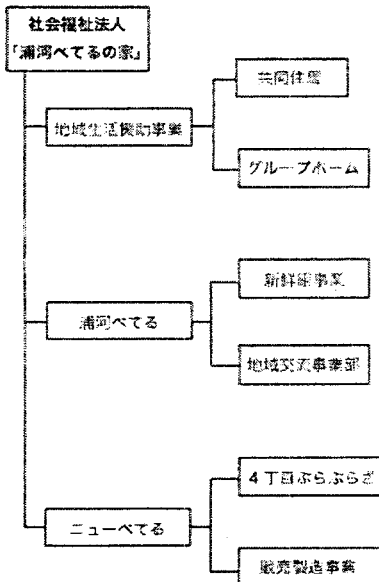


べてるの家のある 浦河町

北海道の東南、襟裳岬にほど近い
 人口1万5千人の小さな町です。
 日高昆布をはじめとする水産資源と、
 サラブレッドなど競走馬の産地として
 も有名です。



組織図

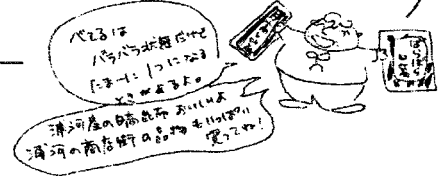


「地域のために 日高昆布を全国に売ろう」

べてるの家の歩みは、様々な悪条件を好条件とし活かしてきた歴史から生まれたものです。
 社会的な支援体制の乏しさや地域経済の弱体化が、精神障がいを抱えながら生きようとする
 当事者自身の生きづらさと重なり合ったとき、「地域のために、日高昆布を全国に売ろう」
 という起業の動機につながりました。

■自分を助けるプログラム

べてるでは、自分を助けるプログラムとして多くの
 ミーティング、SST、当事者研究を行っています。
 これらは、メンバーが病気がうまく付き合いながら
 地域で暮らすために、仲間の応援をもらいながら
 行います。

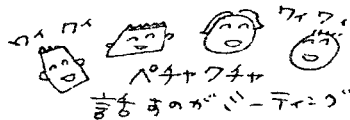


■地域生活援助事業

グループホーム3棟、共同住居4棟を
 運営しています。各住居で週に一度
 ミーティングを行い、一緒に住む
 メンバーやその仲間達が集まって、
 一週間の生活でよかったこと・苦労
 していること・更に良くする点を
 話し合います。

■浦河べてる

新鮮組事業部では、農産・水産・環境
 清掃・製麺を行っています。
 地域交流事業部では、べてる来客者への
 研修・オリエンテーションを行っています。



■ニューべてる

販売製造事業部では、特産の日高昆布の
 加工販売を中心とし、本・ビデオ・グッズ
 の製造販売を行っています。
 4丁目ぶらぶらざではべてるの商品を
 店頭販売、地域とべてるのお茶の間と
 して開放しています。

べてるの理念

- ・三度の飯よりミーティング・それで順調
- ・自分でつけよう自分の病名・苦勞を取り戻す
- ・安心して甘えられる職場作り・偏見差別大歓迎
- ・べてるに関われば商売繁盛・弱さを伴に
- ・手を動かすより口を動かせ・弱さの情報公開
- ・利益の無いところを大切に・幻聴から幻聴さかへ
- ・昇る人生から降りる人生へ

べてるの見学・研修受付中！

べてるでは、見学・研修を随時受け付けています。
 (土日・祝日・年末年始を除く)

べてるのメンバーが
 オリエンテーションを行います。
 もちろん、各MTやSST、
 当事者研究も見学できます。
 是非べてるに遊びに来てください。

見学科/お一人様1,000円(資料代込)
 団体・研修の場合はご相談下さい。

